

清 陵

神奈川県立横浜清陵高等学校 発行日 令和2年6月15日
第41号B版 横浜市南区清水ヶ丘41 電話 045-242-1926



清陵高校とは

本校は、平成29年4月1日より神奈川県立横浜清陵高等学校として出発しました。令和2年4月7日、新型コロナウイルスの感染防止のなか行われた入学式で278名が4期生として入学してきました。令和2年度入試選抜(共通選抜)では実質倍率1.5倍という高い倍率で、

多くの受検生から志願していただきました。この倍率は、保護者や地域の皆様はもとより県内の広い地域も含め、多くの方々から本校にお寄せいただいている期待の大きさと感じています。本校教職員一同は自らに課せられた責務の重さに、身が引きしめる思いでいます。

これまでも新校になり、「進学に重点を置いた学校づくり」を行ってきましたが、さらなる進路実績を目指し、より一層、教育の充実を図っていきます。よろしくご支援・ご協力ください。

本校の魅力

本校の前身横浜清陵総合高等学校は、平成16年4月清水ヶ丘高等学校と大岡



高等学校の再編統合により総合学科の学校として開校しました。開校以来、進学型総合学科で培ってきた生徒一人ひとりに応じた履修指導、キャリア教育プログラム、アクティブラーニングの視点に立った授業など、総合高校として積み重ねてきた教育の蓄積を下に、新校として「進学に重点を置いた学校」「人生

100年時代に生きる力を育む学校」「多文化共生をめざした学校」の三つをコンセプトとした学校づくりを行っていきます。

本校の主な特色を次のようにまとめてみました。

- ・基礎学力の定着と発展的な学力向上を図るためのカリキュラム編成
- ・国公立大学・医療看護系専門学校・公務員試験にも対応したカリキュラム
- ・基礎学力の定着、発展的な学力向上を図るため年間4回の定期テスト
- ・学習アプリのスタディサプリによる学習の補完、学力向上
- ・アクティブラーニング型の授業による生徒の自主的・協働的な学習態度の育成
- ・2年間で3時間(単位)の「総合的な探究の時間」で探究学習を実施
- ・「総合的な探究の時間」で生きる力の育成
- ・外国につながるのある生徒一人ひとりに応じた履修指導、学習指導、進路指導等
- ・広大な校地(47,489 m²)に3棟の校舎、多目的教室の新棟、第1グラウンド、第2グラウンド、体育館、プール、テニスコートなど、整った学習環境

コロナ禍のなかでの情報収集

6月から学校が再開され、中学校では7月より学校説明会等を実施し、中学3年生に対して進路実現に向けて本格的なスタートとなります。5月頃から私立高校がオンライン説明会を実施したり、7月よりオープンスクールを実施したりする高校もあります。県立高校は、段階的な再開の日程では、まだ学校見学、学校説明会を実施することはできませんが、本校ではホームページや学校案内、チラシ、校長通信『清陵』などで本校を知っていただけたらと思っています。



特に校長通信『清陵』は、毎月1回以上、本校生徒向けのA版と、中学生・中学生の保護者、中学校関係者、塾関係者など向けのB版で発行されています。既に80回以上発行されています。内容は本校の方針や取り組みを理解していただくだけでなく、高校受験、学校選択など、中学生やその保護者に向けたメッセージも記された広報誌です。特に中学生からは、本校を志望する上で貴重な資料となるという声をいただいております。

この『清陵』のバックナンバーを読みたいという声にお答えして、本校のホームページから閲覧、プリントアウトすることもできます。本校のホームページから閲覧する場合は次のとおりです。

y-seiryo-h.pen-kanagawa.ed.jp で本校のホームページに入り⇒校長室より⇒校長通信

学校選択に焦りは禁物です。コロナ禍だからこそしっかりとした情報収集を！